

1万人を擁する大学へ躍進

創立者・清水安三と桜美林の歴史

社会の第一線で活躍する人材輩出の実績

写真で見る
桜美林の
100年

1917年・

同志社大学神学部卒業後、清水安三、中国に渡る。日本組合基督教会からの最初の宣教師。

1921年5月・

清水安三は子どもたちに読み書き、自立の為の技術を教える必要性を感じる。北京の朝陽門外に崇貞平民女子工読学校(後に崇貞学園と改称)を設立。最初は女子学校。キリスト教精神に基づき、働きながら学ぶこの学校こそが桜美林学園の始まり。崇貞学園は、貧しい子女を対象として、国籍を超えて誰もが学べる学校としてスタートした。

1931年5月

崇貞女学校開校

1936年9月

崇貞女子中学校開校

1945年・

日本の敗戦で当時、約700人の生徒が在学していた崇貞学園はすべて接収され、中国を去る。帰国直後に神田で偶然、出会ったキリスト教社会運動家で、労働運動、農民運動で大きな役割を果たし、自伝的小説『死線を越えて』でベストセラー作家となった賀川豊彦(桜美林学園初代理事長)から現在、桜美林大学町田キャンパスのある土地を紹介され、教育活動の再開を決意。

1946年5月・

財団法人桜美林学園認可 高等女学校開設。ここに「桜美林学園」が誕生し、崇貞学園の創設者・清水安三にとって「崇貞学園」→「桜美林学園」の新たな出発となる。

なぜ「桜美林」なのか。

清水安三は中国にいる間にアメリカ・オハイオ州の「オベリン・カレッジ」に留学し、校名の由来であるフランス・アルザスの牧師で、教育者だったジャン＝フレデリック・オベリン(Jean Frederic Oberlin 1740-1826)の教育思想に傾倒。校名は、このジャン＝フレデリック・オベリンの名前を漢字にあてたもので、当時学校の敷地に咲いていた桜から「桜美林」と名付けた。桜美林学園が学園に集うすべての人びとに伝えている「学而事人(がくじじじん: 学びて人に仕える)」の精神は、このオベリンが提唱した“Learning and Labor”の思想に基づく。

1947年4月

桜美林中学校を開校

1948年4月

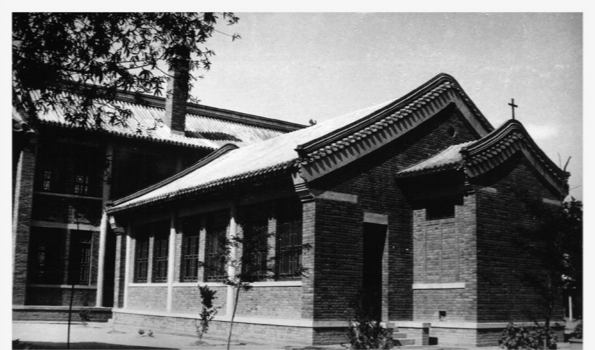
桜美林高等学校を開校。これに伴い高等女学校廃止。

1950年4月・

桜美林短期大学(英語英文科・実務英語課程)を開学



①宣教師として中国に赴任した清水安三



②北京の崇貞学園校舎



③中国から引き揚げてきた清水夫妻(桜美林学園が誕生した後に引き揚げ当時の格好をして撮影した。後ろは校舎)



④桜美林学園最初の校舎(戦時中は軍需工場で働く工員のための宿舎だった)



⑤写真④の校庭で運動会(清水夫妻も競技に参加)。現在は校舎を含めて「桜グラウンド」となっている。



⑥中・高校生と同じ校舎で学ぶ。短大の英語の授業をする清水安三と学生たち



⑦桜美林学園が最初に建設した旧明々館(1958年に校舎の右側半分が、1960年に全棟完成)この校舎は清水安三が中心となり、生徒の保護者や多くの人びとから集めた資金で建設された。写真の右側は最初に建てられたチャペル(1959年完成)。現在のチャペルとほぼ同じ位置。この二つの建物が長い間、桜美林のシンボルとして親しまれた。

1966年4月

桜美林大学が開学。文学部1学部2学科の単科大学だった。入学定員は英語英米文学科100名、中国語中国文学科40名、入学定員わずか140名で出発。創立者の清水安三は、世界で活躍する人間が身につけるべきは、語学力とコミュニケーション能力と考え、時代を先取りするように隣人を愛するキリスト教精神を持ったグローバル人材の育成をめざす。これが桜美林大学の出発であった。



⑧1970年に完成した「三到図書館」は現在も利用されている。

1968年4月

桜美林幼稚園を開園
経済学部経済学科を開設

1972年4月

経済学部商学科を開設

1989年4月

大学に国際学部国際学科を開設

1993年4月

大学院国際学研究科を開設

1997年4月

大学に経営政策学部ビジネス管理栄養学科を開設。経営政策学部の開設により大学の開学からわずか31年で文学部、経済学部、国際学部と合わせて4学部を持つ総合大学に成長する。



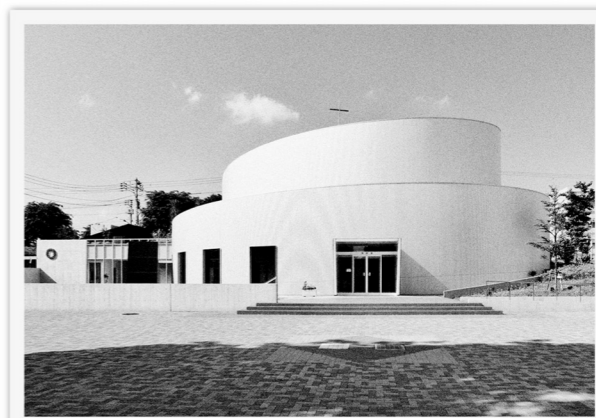
⑨完成当時の「太平館」(1994年10月)

2005年4月

私立大学としては全国で初めての学群制を取り入れ、総合文化学群を開設。

2007年4月

リベラルアーツ学群誕生。文学、経済学、国際学の3学部を再編・統合。学群制に移行するためすべての学部が学生募集を停止。



⑩2007年11月に新築で近代的な新チャペルとなる。スイス製のパイプオルガンが使われている。

2010年

総合文化学群、健康福祉学群、ビジネス管理栄養学群、リベラルアーツ学群の4学群、大学院を持ち、学生・院生総数約8,800名となる。

2013年4月

総合文化学群を芸術文化学群に名称変更

2016年4月

大学にグローバル・コミュニケーション学群を開設

2019年4月・

新宿キャンパスを開設 ⑪ビジネス管理栄養学群が入る新宿キャンパス(新宿区百人町)約2000人の学生が学ぶ

2020年4月・

東京ひなたやまキャンパスを開設
航空・マネジメント学群開設

2021年4月

大学院を国際学術研究科に再編

1921年に本学園の創立者清水安三が中国・北京に「崇貞学園」を創設してから100年。どのような状況下にあっても、希望を失うことのない精神を育み、「為ん方尽くれども希望を失わず」は、聖書からの清水安三の愛唱聖句で、桜美林学園の精神として引き継がれている。100周年を迎えた今、未来へ向けて新しい第一歩が始まる。



⑪ビジネス管理栄養学群が入る新宿キャンパス(新宿区百人町)約2000人の学生が学ぶ

世界を見据えた
多彩な学群の
数々

⑫芸術文化学群(演劇、ダンス、音楽、器楽、ミュージカル、ファインアート、映像制作など)が入る。約1600人の学生が学ぶ



「学而事人」——キリスト教精神に基づく創立の志よ輝け!